

## 令和6年度 デジタル田園都市国家構想交付金事業に係る効果検証シート③

## 公開型GISを活用した行政情報発信による市民サービス向上【事業期間:令和5年度】

## (1) 事業内容

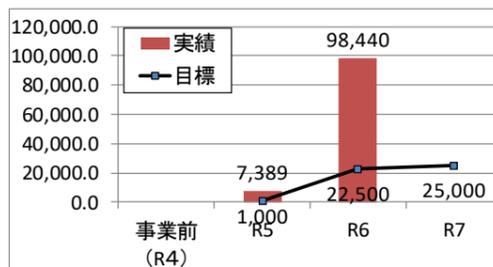
令和5年度にデジタル田園都市国家構想交付金を活用し、八尾市が保有する都市計画情報等を活用し、最新の地形図に修正し、公開型GISの構築を行い、令和6年3月1日より運用を開始した。市民、事業者及び市外からの来訪者に対し、庁内における各種地図情報を的確かつ迅速に提供することで市民サービスの向上と業務の効率化、高度化を図ることに繋がった。

今後も引き続き公開情報を拡大するなど、更なる市民サービス向上をめざしていく。

## (2) 重要業績評価指標(KPI)

## ■ 公開型GISのアクセス件数(件)

	事業前 (R4)	R5	R6	R7
目標	—	1,000	22,500	25,000
実績	—	7,389	98,440	

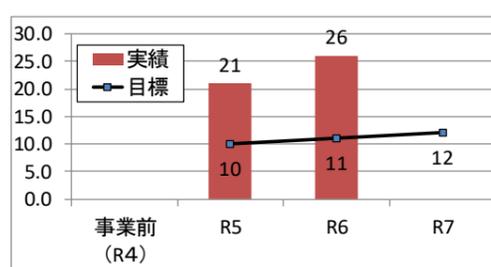


## KPIの推移に対する分析

窓口に来庁された市民の方や事業者の方に対して、公開型GIS(やおデジマップ)を周囲に周知していただけるような案内を実施したり、市役所周辺に店舗を構えている銀行、不動産会社に対して利用してもらえるように営業を実施したりしたことで、利用者数が増加し、KPI達成に寄与したのではないかと考えている。今後も引き続き、サービス利用者への周知や利便性の増進に努め、より良いサービスの提供や掲載する情報の追加などにより、アクセス数の増加を狙う方針である。

## ■ 公開型GISの情報発信レイヤ数(延べ数)

	事業前 (R4)	R5	R6	R7
目標	—	10	11	12
実績	—	21	26	

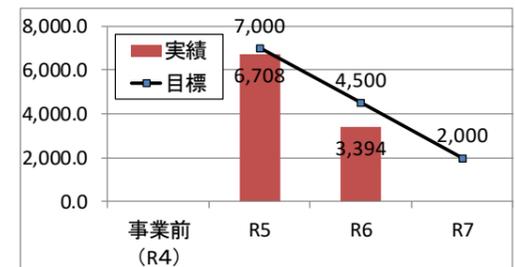


## KPIの推移に対する分析

令和5年度末の実績値において、目標値を大きく超え、令和6年度、令和7年度の目標値をも超えるレイヤ数達成となった。しかし、それで満足するのではなく、継続して庁内における利活用の促進を目的とした情報発信を継続して行い、令和6年度においても情報発信レイヤ数を5レイヤ増加させることとなった。また、電子申請上でアンケートを実施し、その中で意見があった道路台帳のデータも掲載することが出来た。令和7年度においても更なる掲載を目指し、庁内協議を行っていきたい。

## ■ 都市計画業務における窓口対応件数(人)

	事業前 (R4)	R5	R6	R7
目標	—	7,000	4,500	2,000
実績	—	6,708	3,394	

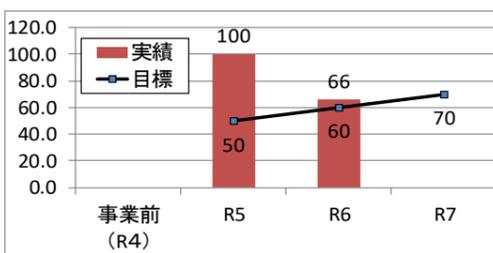


## KPIの推移に対する分析

令和5年度末時点では、公開型GIS(やおデジマップ)の運用が開始して間もないタイミングであったため、対応件数が多かったが、令和6年度では公開型GISの運用が開始しており、序盤は広報不足により来庁される方が多かったが、時間が経過し周知されたことにより窓口での対応はある程度減少した。しかし、条例に関する質問や重要事項説明に関する質問が多く、対応が必須な部分が残っている状況である。これを解決することが出来るような方法があれば実施し、更なる対応件数の減少に努めたい。

## ■ 公開型GISに関する利用者満足度(%)

	事業前 (R4)	R5	R6	R7
目標	—	50	60	70
実績	—	100	66	



## KPIの推移に対する分析

令和5年度は、ホームページ上でアンケートを実施し、公開型GISが「役に立った」という回答が100%であったが、回答者数が少ない事が課題となった。令和6年度は、公開型GIS上でのアンケートを実施し、15件程度の回答を得て、満足度は66%という結果になった。その中でも、道路台帳を掲載してほしいという意見が多くあり、掲載がないために評価が落ちている回答が複数存在していたが、令和6年度末において道路台帳を掲載することが出来たので、来年度においての目標値の向上を期待している。

## 地図から探す

